



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 ノーリツ

上場取引所 東

コード番号 5943 URL <https://www.noritz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腹巻 知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 廣岡 一志

TEL 078-391-3361

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	144,803	△3.6	832	△71.0	1,011	△74.4	573	△74.4
2022年12月期第3四半期	150,182	9.2	2,865	△30.4	3,953	△22.4	2,242	△64.1

(注)包括利益 2023年12月期第3四半期 9,335百万円 (△5.8%) 2022年12月期第3四半期 9,914百万円 (22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	12.43	12.41
2022年12月期第3四半期	48.91	48.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	212,868	126,346	57.1
2022年12月期	216,974	119,656	53.1

(参考)自己資本 2023年12月期第3四半期 121,646百万円 2022年12月期 115,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	25.00	—	28.00	53.00
2023年12月期	—	32.00	—		
2023年12月期(予想)				21.00	53.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	△3.8	4,300	△37.6	4,700	△40.5	3,300	△31.3	71.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	50,797,651 株	2022年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	4,668,535 株	2022年12月期	4,836,602 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	46,107,760 株	2022年12月期3Q	45,848,819 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料のP. 2をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2023年11月9日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、行動制限の解除に伴い、インバウンドの回復や雇用環境の改善など、経済回復の兆しが見えましたが、物価上昇の影響を受け、消費者の大幅な購買意欲上昇には至りませんでした。海外においても、各国で国境封鎖が解除され、経済活動が改善に向かったものの、回復ペースは緩やかな状況が続いています。また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、金融市場の引き締め、地政学的リスクの高まり等、依然として不透明な状況が継続しました。

このような状況のもと、当社グループは、2021年に始動した中期経営計画「Vプラン23」の最終年度を進行しています。当中期経営計画の3年間で「飛躍のための地盤固め」のフェーズと位置付け、国内事業は高収益体質への進化、海外事業は持続的成長を目指しております。さらに、「盤石なサプライチェーンの構築」と「DX推進による企業活動の変革」を重点課題として加え、製品の安定供給と生産プロセスの最適化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,448億3百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益8億32百万円（同71.0%減）、経常利益10億11百万円（同74.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億73百万円（同74.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第3四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が922億15百万円（前年同期比6.6%減）、セグメント損失が14億円（前年同期は9億42百万円のセグメント利益）となりました。

第2四半期以降継続する需要の低迷と原価高騰、為替の影響を受け、減収減益となりました。

温水空調分野では、ガスと電気の2つのエネルギーで効率よくお湯をつくる「ハイブリッド給湯暖房システム」の販売台数を前年比1.6倍に拡大、非住宅分野においても、ボイラーから業務用ガス給湯器への取替を促進し、売上高を大幅に拡大するなど、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みによる成果がありました。一方、家庭用のガス・石油給湯機器においては、想定以上の消費低迷により、販売台数が大きく減少しました。

厨房分野は、8月に発売したビルトインコンロの新商品が順調に推移しているものの、第3四半期累計の販売台数は前年を下回る結果となりました。以上により、国内事業全体で減収減益となりました。

② 海外事業

当第3四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が525億88百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益が22億32百万円（同16.1%増）となりました。

中国エリアにおいては、経済の低迷が継続する中、暖房用給湯器など高付加価値商品の拡販で収益を確保しました。北米エリアにおいては、需要低迷で苦戦しましたが、収益性の高い業務用および暖房用機器の拡販により利益を確保しました。豪州エリアにおいては、ニュージーランド向けのタンクレス給湯器やホームセンター向けタンク式給湯器の販売が順調に推移したことに加え、業務用分野を前年比1.2倍に伸ばすなど、堅調に推移しました。以上により、海外事業全体で増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産残高は、2,128億68百万円（前連結会計年度末比41億6百万円減）となりました。流動資産は、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと等により1,206億25百万円（同115億57百万円減）となりました。また、固定資産は、投資有価証券が増加したこと等により922億42百万円（同74億50百万円増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、支払手形及び買掛金が減少したこと等により865億21百万円（同107億96百万円減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,263億46百万円（同66億90百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は57.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月9日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,253	27,963
受取手形、売掛金及び契約資産	43,403	38,036
電子記録債権	15,161	9,522
棚卸資産	32,223	39,321
その他	6,319	6,767
貸倒引当金	△1,179	△985
流動資産合計	132,183	120,625
固定資産		
有形固定資産	33,990	36,231
無形固定資産		
のれん	1,446	1,356
その他	8,246	8,749
無形固定資産合計	9,693	10,106
投資その他の資産		
投資有価証券	32,701	38,057
その他	8,498	7,930
貸倒引当金	△91	△82
投資その他の資産合計	41,108	45,905
固定資産合計	84,791	92,242
資産合計	216,974	212,868
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,360	37,975
短期借入金	2,112	3,532
未払法人税等	1,598	593
賞与引当金	947	1,909
役員賞与引当金	49	9
製品保証引当金	1,142	1,101
製品事故処理費用引当金	30	29
事業整理損失引当金	12	12
その他	25,991	24,570
流動負債合計	80,245	69,733
固定負債		
役員退職慰労引当金	65	64
製品保証引当金	2,212	2,071
退職給付に係る負債	9,773	8,948
その他	5,020	5,704
固定負債合計	17,072	16,788
負債合計	97,318	86,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	64,309	62,114
自己株式	△7,486	△7,214
株主資本合計	99,948	98,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,287	12,255
繰延ヘッジ損益	△129	117
為替換算調整勘定	7,858	11,690
退職給付に係る調整累計額	△690	△441
その他の包括利益累計額合計	15,326	23,621
新株予約権	78	78
非支配株主持分	4,303	4,621
純資産合計	119,656	126,346
負債純資産合計	216,974	212,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	150,182	144,803
売上原価	103,004	98,874
売上総利益	47,177	45,929
販売費及び一般管理費	44,311	45,097
営業利益	2,865	832
営業外収益		
受取利息	251	300
受取配当金	565	648
受取賃貸料	41	39
為替差益	330	—
補助金収入	204	52
その他	272	282
営業外収益合計	1,666	1,324
営業外費用		
支払利息	73	213
持分法による投資損失	107	584
支払手数料	11	11
固定資産賃貸費用	24	24
為替差損	—	238
割増退職金	95	—
操業停止費用	160	—
その他	104	71
営業外費用合計	578	1,144
経常利益	3,953	1,011
特別利益		
固定資産売却益	3	55
投資有価証券売却益	19	212
特別利益合計	22	267
特別損失		
固定資産処分損	55	52
減損損失	128	—
特別損失合計	183	52
税金等調整前四半期純利益	3,791	1,226
法人税、住民税及び事業税	1,525	985
法人税等調整額	△198	△545
法人税等合計	1,326	439
四半期純利益	2,465	787
非支配株主に帰属する四半期純利益	222	214
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,242	573

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,465	787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△562	3,968
繰延ヘッジ損益	△156	246
為替換算調整勘定	6,822	3,559
退職給付に係る調整額	208	249
持分法適用会社に対する持分相当額	1,136	524
その他の包括利益合計	7,449	8,548
四半期包括利益	9,914	9,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,242	8,869
非支配株主に係る四半期包括利益	672	466

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった㈱テラ・テックは、同じく当社の連結子会社である信和工業㈱を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
温水空調分野	82,508	42,876	125,384	—	125,384
厨房分野	11,948	7,854	19,802	—	19,802
その他	4,305	689	4,994	—	4,994
顧客との契約から生じる収益	98,761	51,420	150,182	—	150,182
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	98,761	51,420	150,182	—	150,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,167	4,353	11,521	△11,521	—
計	105,929	55,774	161,703	△11,521	150,182
セグメント利益	942	1,922	2,865	—	2,865

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
温水空調分野	76,598	44,244	120,842	—	120,842
厨房分野	10,901	7,739	18,640	—	18,640
その他	4,715	604	5,319	—	5,319
顧客との契約から生じる収益	92,215	52,588	144,803	—	144,803
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	92,215	52,588	144,803	—	144,803
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,936	3,571	6,507	△6,507	—
計	95,151	56,159	151,311	△6,507	144,803
セグメント利益又は損失 (△)	△1,400	2,232	832	—	832

(注) セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。